

☆ 「きさ」教育だより（保小中高の取組紹介） ☆

R 8 年 7 月号

☆ 吉舎中学校区の花植えボランティアについて ☆

吉舎町を花いっぱいにし、みんなが笑顔で過ごせる町になることを願い、中学校では、「広島県みどり推進事業」の支援をいただき、年2回の花植えボランティア活動を行っています。

吉舎中学校生徒会生活保健委員会が中心となり、町内の小学校、日彰館高等学校、民生児童委員の方に呼びかけて募り、6月にマリーゴールドの花植えを実施したところ約70名の参加となりました。

花植え当日は、生活保健委員会の生徒が中心となり、楽しく自己紹介をし、お互いをニックネームで呼び合うなど、和やかなムードで花植えをしました。

後日、吉舎小学校を訪れ、花を植えたプランターを手渡しました。また、花のお世話をお願いする生徒の手紙を添えて地域の公共施設等にプランターを設置するとともに、活動の趣旨を理解し賛同して下さる地域住民の方には、民生委員さんの協力を得て花のプランターを届け、大切に育ててもらっています。

花植えボランティアを通じて、様々な人とのコミュニケーションを図る力や、地域に貢献する意欲を持った生徒が育っています。



☆ 吉舎保育所「茶道教室」 ☆

7月1日、みどり組(年長児)が奥田先生の茶室でお茶の作法を習いました。

毎年、年長児が年に3～4回楽しみに行かせていただいています。今年度1回目は、正座の仕方、畳の縁(へり)から16目あけて座ること、お茶の飲み方等を教えていただきました。初めて抹茶を飲む子もいて、「おいしい!」「苦い!」等様々な感想がありましたが…日本の文化に触れる良い体験をさせていただきました。

地域の方々が、保育所の子どもたちを大切に思ってくださっていることに日々感謝しています。次回、12月のクリスマスお茶会を子どもたちと楽しみにしています。



☆ 吉舎小学校 奥田元宋・小由女美術館との学習 ☆

5年生は総合的な学習の時間で、吉舎出身の画家、奥田元宋先生に学ぶ学習を進めています。

6月4日木曜日には、奥田元宋・小由女美術館で学芸員さんに企画展の案内をしていただき、自分のお気に入りの奥田元宋先生の絵を模写しました。帰校し、模写した絵に丁寧に色を重ねていきました。

7月7日火曜日に再度訪問し、学芸員さんに奥田元宋先生の絵の秘密を指導していただきました。また、5年生が模写に取り組んでいる奥田元宋先生の絵について評価していただきました。児童は学芸員さんに自分たちが描いている絵をほめていただき、とても嬉しそうでした。

右の写真は、奥田元宋先生の「赤」について、絵に使われている色を観察して学んでいる様子です。白い紙に空いた小さな穴を通して、黒く見える部分、赤く見える部分の色の使われ方について観察しています。奥田元宋先生は、赤を表現するのに様々な色の工夫をされていることを実感することができました。

児童は、「奥田元宋さんの絵を見て、一つ一つが細かくて、本物と1ミリもずれていないことがわかりました。桜の花びらに色を塗るときに、1ミリもはみ出していなかったから本物のように見えました。あのこだわりは凄いと思いました。僕はあんなに上手な絵を描けないので、絵を描くことにチャレンジしてみたいと思いました。野球は好きだけど、奥田元宋さんのように野球でこだわるのは難しいです。自分にはまだできていないところがあるからです。奥田元宋さんは努力の塊で、技術がものすごいなあと思いました。僕もそうなりたいです。」と感想を述べています。

吉舎町出身の偉大な先達から、一人一人大切な学びをしているようです。



☆ 日彰館高校 ボランティア食堂「カカキッチン」について ☆

吉舎町の住民有志の6名の方々（「おせっかいおばちゃんの台所」）が、日高生徒を応援したいと定期的にボランティア食堂「カカキッチン」を開いてくださっています。

中間、期末試験の時に1度ずつ、学校のすぐ近くの新市コミュニティセンターで、温かい家庭料理を提供していただくという催しで、1学期にプレオープンと含めて4月から3回行われました。本校の生徒約30名が参加し、低価格で美味しいお昼ご飯をいただき、生徒達は大変喜んでいました。2回目の5月は、前売りチケット完売、満員御礼でにぎわいました。栄養バランスの良い食事をいただき、生徒同士や地域の方との語らいを楽しみ場となっています。

地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも日彰館高校をよろしく願います。

